

後期高齢者医療事業特別会計

問い合わせ：留萌市市民健康部市民課
(TEL 0164-42-1805)

総
括

後期高齢者医療制度は、75歳以上の方及び65歳以上の一定の障害のある方が加入する医療制度です。都道府県ごとに設置される後期高齢者医療広域連合が保険者の役割を果たし、市と事務(各種届出の受付・保険料の賦課徴収)を分担しながら運営しています。
平成29年度決算の状況は、歳入328,438千円に対して、歳出327,570千円であり、歳入歳出差引き868千円の黒字となりましたが、この黒字は、出納整理期間(平成30年4月1日～5月31日)に収納した後期高齢者医療保険料などであり、翌年度へ繰り越し、全額を後期高齢者医療広域連合納付金として支出することになります。
保険料現年度収納率は、特別徴収100%、普通徴収99.0%、合計99.7%であり、今後も収納対策に取り組み、後期高齢者医療制度の円滑な運営に努めます。

収入

(単位:千円、%)

構成比の65.4%が①後期高齢者医療保険料です。
また②繰入金は、事務費分と保険料軽減分を補てんするものです。

予算科目	平成29年度				平成28年度		平成28年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	予算との比較	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
① 後期高齢者医療保険料	215,908	215,006	65.4	△ 902	203,762	64.8	11,244	5.5
② 繰入金	113,501	113,186	34.5	△ 315	109,626	34.8	3,560	3.2
③ 繰越金	13	13	0.0	0	209	0.1	△ 196	△ 93.8
④ 諸収入	423	233	0.1	△ 190	283	0.1	△ 50	△ 17.7
⑤ 広域連合支出金	0	0	0.0	0	559	0.2	△ 559	皆減
合 計	329,845	328,438	100.0	△ 1,407	314,439	100.0	13,999	4.5

支出

(単位:千円、%)

構成比の94.4%が②後期高齢者医療広域連合への納付金であり、徴収した後期高齢者医療保険料と広域連合に対する事務費負担などを納付しています。
①総務費は保険料の徴収に係る事務経費や人件費などです。

予算科目	平成29年度				平成28年度		平成28年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	予算との比較	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
① 総務費	19,013	18,445	5.6	△ 568	18,407	5.9	38	0.2
② 後期高齢者医療広域連合納付金	310,732	309,125	94.4	△ 1,607	296,020	94.1	13,105	4.4
③ 予備費	100	0	0.0	△ 100	0	0.0	0	0.0
合 計	329,845	327,570	100.0	△ 2,275	314,427	100.0	13,143	4.2

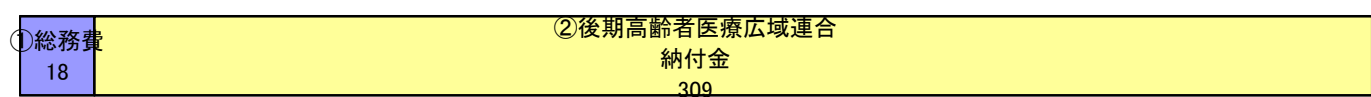
(単位:百万円)

平成29年度
決算
(グラフ)

収入



支出



平成30年度執行状況(9月30日現在)

収入

①後期高齢者医療保険料については、納期未到来分の保険料の影響から収入率が43.7%となっています。今後も事業の円滑な運営のため、保険料収納率向上に努めます。

(単位:千円、%)

予算科目	平成30年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
① 後期高齢者医療保険料	228,656	99,923	43.7
② 補助金	1,715	0	0.0
③ 繰入金	126,583	0	0.0
④ 繰越金	1	868	86,800.0
⑤ 諸収入	923	0	0.0
合計	357,878	100,791	28.2

支出

②後期高齢者医療広域連合納付金については、徴収した後期高齢者保険料等を北海道後期高齢者医療広域連合に納付したものが29.2%となっており、①総務費は保険料の徴収に係る経費が50.9%となっています。

(単位:千円、%)

予算科目	平成30年度支出状況		
	予算額	支出済額	執行率
① 総務費	21,868	11,172	51.1
② 後期高齢者医療広域連合納付金	335,910	98,007	29.2
③ 予備費	100	0	0.0
合計	357,878	109,179	30.5

※9月末において、収入済額に対して執行済額が上回っていますが、繰入金などの収入が年度末の収入となるためであり、不足については会計間によって補っています。
※繰越金の収入率が86,800%となっていますが、後日補正を行い収入率は100%となる見込みです。